

知的障害者に理解と協力を

福祉パレード

館林・邑楽ブロック福祉パレードが知的障害者月間中の9月10日に開かれ、知的障害者やその家族、関係者が知的障害についての理解と協力を訴えました。

町では、中央公民館で、斎藤町長、江原助役、松本議会議長、築比地教育長、町内関係者など約50人が出迎えました。和田会長は「在宅・施設サービス等のいっそうの充実向上と障害者雇用の促進を心から願っています」とメッセージを伝えました。



メッセージを伝える和田会長

丁寧^{ていねい}に料理に初挑戦

男性のための料理初めて教室



大根の千切りにチャレンジ

町では食生活改善推進員の協力を得て9月に全3回で、料理初心者の男性を対象に「男性のための料理初めて教室」を開催し8人が参加しました。

第1回目の教室では、講師の町栄養士が食事と関わり深い生活習慣病について講義。包丁の握り方など料理の基本を説明した後、和風磯部ハンバーグ・大根サラダ・ニラと卵のふわふわ汁に挑戦。慣れない手つきながらも丁寧に3品を完成させました。

より安全な通学路に

交通安全総点検

町交通対策協議会では9月21日、小学校通学路を対象に初の交通安全総点検を行い、危険か所を調査しました。

交通安全施設を点検し、より安全な通学路を整備するとともに参加者の意識高揚を図ることが目的。東・西小学校、PTA、警察、安全協会、町の関係者76人が雨天の中、町内10か所の通学路を徒歩や自転車などで点検しました。標識やカーブミラーが見にくいことなどを確認後、報告会で意見交換が行われました。



通学路の危険箇所を点検する関係者

町の紋章の影に感激

町制施行モニュメント



町の紋章の影に見入る見学者

秋晴れに恵まれた10月1日の正午、町制施行モニュメントのループの影と地面に埋め込まれた方位板が重なり明和町の紋章の影が現れ、多くの町民のかたが見学に訪れました。

モニュメントは、平成10年10月1日の町制施行を記念して制作されたもので、毎年10月1日の正午に明和町の紋章の影が現れるものです。訪れたかたは「地面に映った影が、紋章にぴったり合っていたことにとても感激しました」と話していました。